

未来ガジェット研究所 メンバーファイル[4]

Future Gadget Laboratory Member File

キャラクターたちの秘密に迫る連載企画
第4回は桐生萌郁と天王寺裕吾の2人!

さまざまなキャラクターの視点で物語が描かれていく『線形拘束のフェノグラム』の魅力に迫る連載ページ。今号は萌郁と天王寺の2人のバックボーンを、プロデューサーの松原達也氏、ディレクターの梶岡俊彦氏、シナリオライターのエリカ直孝氏の3名に聞いていく。



まるで私のことを、まだラボメンだと……仲間だと……友達だと感じてくれていたみたい。♡

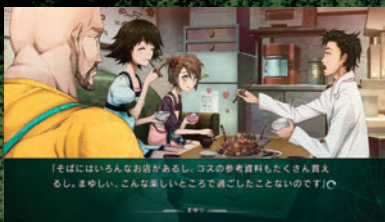
Steins;Gate

シュタインズ・ゲート

線形拘束のフェノグラム

CREATOR INTERVIEW

父親としての
ミスターブラウンの顔とは



「そばにはいろんなお店があるし、コスの参考資料もたくさん買えるし、まゆしい、こんな楽しいところで過ごしたくないです!♡」

[ラボメンナンバー 005] 桐生萌郁
[ミスターブラウン] 天王寺裕吾

各キャラクターの誕生秘話から物語での立ち位置、最新作『線形拘束のフェノグラム』の内容についてまで紐解いていく連載企画の第4回。今回は編プロのアルバイトでありながらSERNの傭兵部隊ラウンダーという裏の顔を持つ重要キャラクター・桐生萌郁と、ブラウン管工房の店主である天王寺裕吾、そしてその娘の絢をピックアップする。

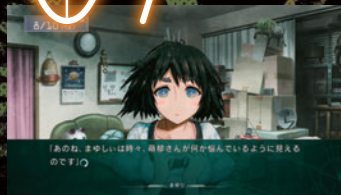
PS3 AVG 4月25日発売

STEINS;GATE
線形拘束のフェノグラム

●5pb.
●¥7,140(税込)・数量限定版¥11,550(税込)

07 昏睡励起のクワンタム

— 桐生萌郁 Quantum excited in Coma



▲はじめて人の優しさに触れた萌郁。恩人であるFBと仲間のラボメンたち、彼女は最後にどちらを選ぶのか。

任務か、仲間か。揺れる萌郁の心……

SERNの非公式部隊であるラウンダーとして、未来ガジェット研究所への潜入を命じられた萌郁。はじめは個性的なラボメンたちを警戒していたが、彼らの温かさに触れ、命令の実行を躊躇するようになってしまふ。しかし、それに反して命令は次第にエスカレートしていき……。シナリオ：梶影二（アタックリ）

Actor's Voice

後藤沙緒里氏 Saori Goto

わたしにとって萌郁は守ってあげたい存在です。彼女の孤独感を知ること、たとえば彼女が現実にはお友達になって、いろんな楽しい思い出を作りたい、笑わせてあげたい、そんな風に思えた不思議な存在です。最新作は萌郁の“本音”を知ることができて嬉しかったです。この作品を通して彼女が許されて、少しずつでも愛してもらえますように。そう思いました。

桐生 萌郁 MOEKA KIRYU

編プロのアルバイト。4年前、自殺を試みるも未遂に終わっている。そのときにSERNの傭兵部隊「ラウンダー」の募集を受け、コードネーム「M4」として活動する。

—なるほど。天王寺の物語はどのような内容になっているのでしょうか？

林：「比翼恋理のだーりん」と同じ世界線なので、絢のよき父親としての顔が描かれることになります。天王寺が絢のためにビルの建て替えを行うのですが、そのビジュアルがインパクト絶大なのでぜひ楽しみにしてもらいたいですね。—この物語では天王寺もDメールを使うことになるのでしょうか？

林：直接は使わないですね。「こういうものがあると聞いたんだが……」と岡部と相談することになります。

—モノログ部分に関しては？

林：ほかのキャラクターと違って大人なので、しっかりとした理性を持っていますね。

梶岡：そうですね。あとは彼の回想という形で、岡部が2階の部屋を借りに来たときの話も出てきます。その話を聞いた紅莉栖の反応などもおもしろいので、そういったエピソードにもぜひ注目してみてくださいね。

—演じられている、てらそままさきさんについてもお聞かせください。

梶岡：予想以上に“べらんめえ口調”になっていたの、そこは修正していただきました(笑)。

林：天王寺はバリ育ちですからね(笑)。

「建て直しを行ったあとの
ビルのビジュアルにみなさん驚くと思います」

「どんなに短いセリフもすべて演じ分けている 後藤沙緒里さんのボイスにも注目してもらいたい」

CREATOR
INTERVIEW

フォントリガーのシステムを 活用した萌郁の設定

——原作に萌郁のエンディングは存在しませんでした
が、これにはどういった意図があったのでしょうか。
林：最初は用意する予定でしたが、物語を作っていく
過程であの形に落ち着きました。

松原：エンディングを用意するかどうかは最後まで悩
んでいました。ただ、敵として登場している彼女を救
う物語を描くと、蛇足になってしまうと思ったんです。

——プレイヤーの怒りの矛先になってしまうという意
味では、不憫なキャラクターなかもありませんか。

林：そうですね。ドラマ部分を優先させた結果ですが、
彼女には少し可哀想なことをしたかもかもしれませんね。

——そんな彼女ですがスピンオフの『比翼恋理のだー
りん』ではメインキャラクターになりました。

松原：『比翼恋理のだーりん』のコンセプトは「キャ
ラクターとの恋愛」というもののほかに、「本編では
成し得なかった救い」というものもありました。も
ともと『シュタインズ・ゲート』の世界には救われない
キャラクターが多数いるのですが、その中の1人でも
あった萌郁に大きくスポットが当たった形ですね。

——なるほど。次に萌郁の性格についてもお聞きした
いのですが、彼女がメール魔だというのは最初のコン
セプト段階から存在したのでしょうか？

林：じつは萌郁の性格は最後まで難航していました。

「フォントリガー」のアイデアが生まれて、この
システムを使って何か表現できないかな……と考
えて、今のメール依存症のキャラクターになったん
です。

松原：フォントリガーというシステムがなければ、
こういうキャラクターにはなりませんでしたね。

——続いて『フェノグラム』の内容についてもお聞き
します。彼女のモノローグは、普段の無口な性格と
明るいメールの口調とどちらになるのでしょうか？

林：大人しいほうですね。ずっとあのメールのハイ
テンションを維持することはできないと思います（笑）。

——萌郁を演じている後藤さんについての印象はい
かでしょうか？

梶岡：萌郁のセリフは「うっ……」とか「あ……」と
か一言のものが多くのですが、後藤さんはそのすべ
てを見事に演じ分けてくださいます。我々としてもその
セリフの1つ1つをしっかりとユーザーさんにお届
けできるよう、音声にノイズなどが入らないように細
心の注意を払いました。

——テキスト上では同じ「……」でも、実際に音
で聴くとすべて異なるニュアンスになっているん
ですね。

梶岡：演出側からの要望で、あるセリフだけリ
テイク（録り直し）する場合でも、1番最初の部
分からやり直してくださるんです。過程を組み
立てて演じられているので、最後だけ録り直
すという方法では録れないんですよ。

——続いてシナリオの具体的な内容についてお聞
かせ

ください。どういった話になるのでしょうか？

林：萌郁のストーリーは、ラボに潜入したスパイ側
の視点を描くものになります。FBの命令を遂行しな
ければならないという萌郁の決意が岡部たちとの交
流によって揺らいでいき、どう葛藤していくのが1
番のポイントですね。

——本編での萌郁は岡部以外のラボメンとはあまり
かわりありませんでしたが、本作では他のメンバ
ーとの交流も描かれるのでしょうか？

林：そうですね。このシナリオでは岡部よりも紅
莉栖とまゆりがカギになります。この2人とのメ
ールでのやり取りが多くなります。

——やはり交流はメールなんですね（笑）。

林：はい（笑）。あと、メールといえば、FBから
のメール文もはじめて公開されます。かなりねち
っこい内容になっているので、その部分にも注
目してもらいたいです。

——具体的にはどのような内容なのでしょう
か？

林：いかに萌郁を操ってやろうかと考えている
ことが、うかがえる内容になっています（笑）。

——今回はプレイヤーがFBの正体をすでに知
っているわけですが、その部分は意識して制作
されたのでしょうか？

林：じつは今回の萌郁のシナリオでは、FBの
正体はまったく描かれませんが、メールでは
やり取りをしますが、直接会って話すことは
ないです。

松原：萌郁がラボに通っているときにすれ違
っていることもあろうかと思いますが、彼女
自体はFBの正体を知りませんからね。

林：萌郁にとっては「別に交流する必要がない
人」という認識だと思います。

不器用な父親は、娘の想いに気付くことができるのか——

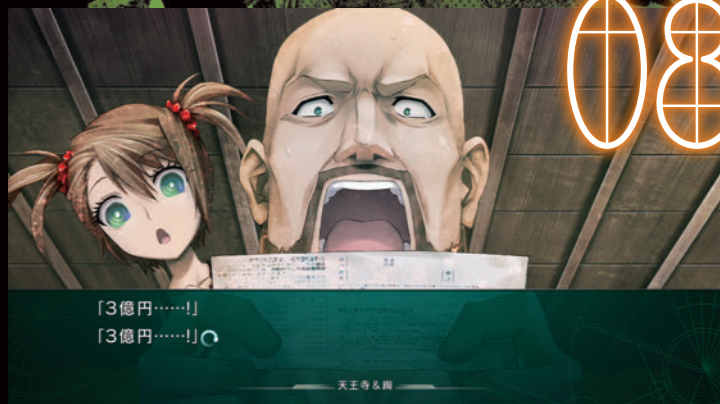
ミスターブラウンこと天王寺裕吾。彼は
ブラウン管工房を構える大檜山ビルと自宅
の2つの住まいが、絢にとって本当に居
心地のいい場所なのかと考え悩んでいた。
そんなある日、彼は購入した宝くじで3億
円という大金を手にする。迷いながらも娘
のためにビルを建て替える天王寺だったか、

なぜか肝心の絢の表情は浮かばない様子。
建て替えたことを後悔した天王寺は、Dメ
ールによるやり直しを決意。岡部たちの協
力のもと、ビルを建て替える1年前に戻
ってきた彼は、絢にとっての幸せとはい
ったい何なのか再び考え直すことにするが……。

シナリオ：坂本正吾

雨鈴鈴曲のスクレイパー

——天王寺裕吾 A Strange Building Filled Of Love



「3億円……!」
「3億円……!」

天王寺 & 絢

Actor's Voice

山本彩乃氏 Ayano Yamamoto

絢ちゃんは長い間一緒にいるので
とても大切な存在です。今になっ
ても新しい一面を見せてくれるので、
すごく楽しいです。最新作はまさに
「全俺が泣いた」でした!! 絢ちゃん
はまだ子どもなのに、本当にいい子
なんですよ。物語の違いは、あの
世界線のあの日あの時あの人は……
という部分がより深くわかること
です! そして時は動き出すんです
よおー!! 感動です!!

Actor's Voice

てらそまさき氏 Masaki Terasoma

自分にとって演じたキャラクター
は可愛い子どもと一緒にですね。天王
寺は一人娘を深く愛する、また、ブ
ラウン管を深く愛する、熱いオジサ
ンです。一人娘の父親であるとい
うところは自分と共通している部分
です。最新作は今までより深く、各
キャラクターとのつながりや、それ
ぞれの思いがあって、大変ありがた
かったです。ぜひみなさんも本作を
プレイしてみてください。

天王寺 絢

NAE TENNOUJI

天王寺裕吾の一人娘で、大
人しい性格の小学校6年生。
まゆりや鈴羽といった女子の
ラボメンとは仲がいいが、岡
部や橋田には怯えてしまう。



天王寺 裕吾

YUGO TENNOUJI

岡部のラボがあるビルのオ
ナーで、自身も同ビル1F
にてブラウン管TVモニタ専
門店を経営している。一人娘
の絢を溺愛する父親でもある。